

平成31年度に使用する広島市立小学校用教科用図書
 (「特別の教科 道徳」を除く)の採択理由

(広島市)

教科【国 語】	種目【国 語】	発行者【東京書籍株式会社】
<p>本市では、全小学校第1学年から第4学年において帯時間を設定し、読んだり書いたりすることの反復学習を継続している。また、児童の思考力・判断力・表現力を高めるために、指導事項を明確にすることや言語活動の充実を図ることなどに重点を置いた授業改善を推進している。</p> <p>平成29年度の「基礎・基本」定着状況調査によると、本市の児童の学力の実態として、「話すこと・聞くこと」「読むこと」の領域においては学力が概ね定着しているが、主語・述語の関係等の言葉の特徴やきまりに関する事項や、条件に従って自分の考えを記述したり、情報を取り出して関連付け、問題に対して的確に記述したりするなど、実生活や各教科の様々な場面に活用する力に課題があることが明らかになった。</p> <p>東京書籍の教科書は、各単元が「つかむ」、「取り組む」、「振り返る」、「広げる」という構成になっており、問題解決的な学習を実施するための工夫を施している。また、学習内容の活用を促すために「つながる」のコーナーや、他教科や実生活での活用を図るために「ひろがる」のコーナーを設けている。さらに、学校図書館機能の活用を促すページが充実している。こうした特徴は、実生活や各教科等の様々な場面に国語科の学習内容を活用する力に課題がある本市児童の状況に対応することができるものである。</p>		
教科【国 語】	種目【書 写】	発行者【東京書籍株式会社】
<p>本市では、各家庭において年賀状や手紙を書く機会が減少している中、小学校教育研究会国語部会が主催する「書き初め会」を実施するなど、伝統と文化に触れる体験をさせることができるよう取組を進めている。</p> <p>入学前に誤った筆記具の持ち方や姿勢等を習得していたり、担任以外の教諭が書写を担当したりすることがあることから、限られた時間の中で基礎・基本を確実に習得させることや、学習内容を各教科や日常生活に生かすことが難しい状況にある。</p> <p>東京書籍の教科書は、観察などの際に座って書く姿勢や、左手で筆を持つ児童のための用具の置き方を示し、書く姿勢を整えるための「しよしゃたいそう」を掲載している。また、毛筆の学習は硬筆との関連を図るため、硬筆から導入し、毛筆教材の後、同じねらいをもつ硬筆教材を取り上げている。こうした特徴は、入学前に誤った筆記具の持ち方や姿勢を習得していることから学習内容を各教科や日常生活に生かすことが難しい本市の児童の状況に対応することができるものである。</p>		
教科【社 会】	種目【社 会】	発行者【東京書籍株式会社】
<p>本市には、官公庁や商業施設が集まる地域、工業・農業・漁業が行われている地域、宅地造成により住宅地が広がる地域、豊かな自然の残る地域、歴史的遺物が残る地域など、それぞれに異なる特色をもつ地域が分散している。社会的事象を学ぶ社会科にとっては、様々な分野の事象を具体的に観察・調査することができる環境にあるため、児童が興味・関心をもちながら学習することができる好条件の市域である。</p> <p>国際平和文化都市である本市で学ぶ児童は、平和に対する意識が総じて高い。また、様々な社会的事象への関心も高く、体験的な学習にも積極的に取り組むことができる。しかし、自ら課題を見付け、見通しをもって課題解決を図る力や、身に付けた知識や調べたことをもとに、社会的事象の特色や相互の関連、意味について考える力、社会参画しようとする力には課題がある。</p> <p>東京書籍の教科書は、広島原爆や平和に関する文章記述や写真資料を多く掲載している。また、「つかむ→調べる→まとめる→いかす」という学習過程を示すことにより、問題解決的な学習を充実させるための工夫が施されている。調べたことや考えたことを適切に表現する力を育成することができるよう、まとめ方の例を多く掲載している。こうした特徴は、自ら課題を見つけ、見通しをもって課題解決を図る力や、身に付けた知識や調べたことをもとに、社会的事象の特色や相互の関連、意味について考える力、社会参画しようとする力に課題がある本市児童の状況に対応することができるものである。</p>		

教科 [社 会] **種目** [地 図] **発行者** [株式会社帝国書院]

本市には、官公庁や商業施設が集まる地域、工業・農業・漁業が行われている地域、宅地造成により住宅地が広がる地域、豊かな自然の残る地域、歴史的遺物が残る地域など、それぞれに異なる特色をもつ地域が分散している。社会的事象を学ぶ社会科にとっては、様々な分野の事象を具体的に観察・調査することができる環境にあるため、児童が興味・関心を持ちながら学習することができる好条件の市域である。

国際平和文化都市である本市で学ぶ児童は、平和に対する意識が総じて高い。また、様々な社会的事象への関心も高く、体験的な学習にも積極的に取り組むことができる。しかし、自ら課題を見付け、見通しをもって課題解決を図る力や、身に付けた知識や調べたことをもとに、社会的事象の特色や相互の関連、意味について考える力、社会参画しようとする力には課題がある。

帝国書院の教科書は、中国地方のページに「広島市のようす」という主題図を掲載し、爆心地からの距離や原爆の被害状況を示したり、広島県内の主な産業を29の記号で示したりしている。また「～をしようかしよう」「～をさがしてみよう」「～を調べよう」等、活動を促す記述を掲載しており、問題解決的な学習を実施するための工夫が施されている。調べたことや考えたことを表現する力を育成するための工夫として、自分の住んでいる都道府県や知っている都道府県の紹介文を書く活動や防災マップを作成する活動を例示している。こうした特徴は、社会の学習において有効に活用できるものであるとともに、自ら課題を見付け、見通しをもって課題解決を図る力や、身に付けた知識や調べたことをもとに、社会的事象の特色や相互の関連、意味について考える力に課題がある本市児童の状況に対応することができるものである。

教科 [算 数] **種目** [算 数] **発行者** [東京書籍株式会社]

本市では、全小学校第1学年から第4学年において帯時間を設定し、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図っている。また、児童の思考力・判断力・表現力を高めるために、授業において、めあてを明確にし、算数的活動に重点をおいた授業づくりに取り組んでいる。

平成29年度の「基礎・基本」定着状況調査によると、四則計算は概ね定着しているが、量感覚の定着や図形の定義や性質を適切に記述することに課題がみられる。また、平成29年度の全国学力・学習状況調査によると、課題解決に向けて、与えられた情報を整理し、筋道を立てて考え、それを基に条件に合うものを判断することや、解決する過程を式や言葉等で表現し、根拠を明確にして考えを説明することに課題がみられる。

東京書籍の教科書は、問題解決的な学習を実施するための工夫として、45分の授業の進め方を一つの単元を例に詳しく示している。また、量感覚を養うために、作業的・体験的な活動を促す構成になっていたり、図形の理解を図るために、細かく段階を経て図形や立体を示したりしている。さらに、自分の考えを分かりやすく説明・表現することができるように、言葉・式・図等を用いた説明や表現を例示している。こうした特徴は、量感覚の定着や、課題解決に向けて、筋道を立てて考え、表現し、説明することに課題がある本市児童の状況に対応することができるものである。

教科 [理 科] **種目** [理 科] **発行者** [教育出版株式会社]

本市は都市部もあれば山間部もあり、地域によって自然環境も様々である。また施設も充実しており、こども文化科学館、安佐動物公園、植物公園、江波山気象館、森林公園こんちゅう館など様々な分野の事象を具体的に観察、調査することができる環境にある。

平成29年度の「基礎・基本」定着状況調査において、本市の児童の理科に関する興味関心は高く、8割以上が「好き」と答えた。学力に関しては「生命」領域については概ね定着しているが、「物質」「エネルギー」「地球」領域は6割を切っており十分定着しているとはいえない。また、観察・実験の結果についてその要因や根拠を考察し、説明することに課題がみられる。

教育出版の教科書は、本市の小学校の春夏秋冬の様子を写真で掲載するとともに、森林公園こんちゅう館、こども文化科学館、江波山気象館、健康科学館等の写真を掲載し、本市の児童の興味を引く工夫を施している。また、問題解決の過程において、考察する学習活動を充実させるために、観察・実験の結果から考察へ進む際に「結果から考えよう」という項目を立てて考察する際の手立てを示している。こうした特徴は、本市の四季の様子や本市内の施設についての活用方法を紹介することで本市児童の理科に対する興味や関心を喚起するとともに、観察・実験の結果について、その要因や根拠を考察し、説明することに課題がある本市児童の状況に対応することができるものである。

教科【生活】 種目【生活】 発行者【東京書籍株式会社】

本市では、体験活動や町探検、地域の方との交流などが行いやすい地域もあれば、難しい地域もあり、学習環境は様々である。各学校においては、具体的な活動や体験を通す中で、思考を促す活動や気付きを表出する表現活動を行い、気付きの質を高め、児童の意欲の向上につながる指導計画および指導方法の工夫に重点を置いた授業づくりを大切にしている。

児童は、意欲的に活動には参加できるものの、総じて実際に地域や自然とかかわるなどの体験する活動や繰り返しかかわる活動が少ない傾向にある。

東京書籍の教科書は、スタートカリキュラムを特設し、学校生活の様子を多くの写真で示し、さらに保護者向けの説明文を示している。また、身近な人々や社会及び自然とのかかわりを深める町探検の学習において、探検活動を3回設定し、同じ場所、人に繰り返しかかわる活動を示している。これは、地域や自然とかかわるなどの体験する活動や繰り返しかかわる活動が少ない傾向にある本市児童の状況に対応することができるものである。

教科【音楽】 種目【音楽】 発行者【教育出版株式会社】

本市では、「文化の祭典」や「こころの劇場」など、日頃の学習の成果を発表したり本物の舞台芸術に触れたりするなど、児童の音楽経験を豊かにする場を設定し、各学校に積極的な参加を呼び掛けている。また、音楽朝会や音楽鑑賞など、児童が音楽に親しむ機会を大切にしている学校が多い。

児童の経験の乏しさが「春の小川」や「こいのぼり」などの共通教材に表現されている情景を思い浮かべることができず、感じたことを言葉で表すなど、豊かに表現することができにくい課題につながっている。児童によって音楽経験の差が大きく、日常生活において伝統的な音楽に親しむ環境に置かれていない児童も多くいる。また、音楽活動の基礎的な能力に個人差があり、特に器楽の演奏においてその傾向がみられる。

教育出版の教科書は、共通教材における情景が思い浮かべやすいよう、ページ全体を1枚の写真のようなレイアウトにしたり、鑑賞の資料として両開きの大きな写真を用いたりしている。また、「音楽を表すいろいろな言葉」のページや感じ取ったことを書き込む欄を設け、鑑賞における言語活動の充実を図る工夫を施している。器楽の技能の定着を促すために、楽器のつくりを示し、基本的な演奏方法について写真やイラストと言葉で示すとともに、「楽器図鑑」のページを設け、児童が様々な楽器に関心を広げることができるようにしている。さらに、国歌は2ページ扱いで細石の写真や歌詞の大意を掲載している。こうした特徴は、感じたことを豊かに表現することができにくく、音楽活動の基礎的な能力に課題のある本市児童の状況に対応することができるものである。

教科【図画工作】 種目【図画工作】 発行者【日本文教出版株式会社】

本市には、美術館を有する旧市街地と、新たに開発された住宅地、商業地、山や海や川などを主体とした自然豊かな地域など、様々な環境がみられ、児童を取り巻く学習環境にも大きな違いがある。

児童の実態として、全体的に新たな活動への興味・関心が旺盛で、素直に感じ取り自由に表現している傾向があることがうかがえる。反面、自然や人とかかわりや生活経験の不足から、活動への見通しや自分の表現に自信がもてず、粘り強く表現活動に取り組めない児童や、図画工作科に苦手意識をもっている児童もいる。

日本文教出版の教科書は、学習指導要領に沿った4つの観点による目標を題材ごとに短い文で示している。また、巻末に材料・用具の扱い方を詳細に掲載し、各題材でも材料・用具の解説や安全面に配慮すべきことを説明している他、必要な材料や用具をマークで示している。表現活動では、活動の始まりから終末の振り返り及び片付けまでの流れに沿った写真や解説の配置がなされている。鑑賞活動では、鑑賞題材にアートカードを用いた活動を取り上げている。こうした特徴は、活動への見通しがもてず、粘り強く表現活動に取り組めないという本市児童の状況に対応することができるものであり、美術館の有無など児童の学習環境に大きな違いがある本市の実態にも対応することができるものである。

教科【家庭】 種目【家庭】 発行者【開隆堂出版株式会社】

本市では、核家族の家庭が多く、伝統的な和食を食べる機会が減り、マナーや繰り返しものを大切に使うこと、家族のだんらん等に対する意識が低い傾向がある。もともと、児童の「食」への興味・関心は高い。それに加え、各校での家庭科での調理実習を中心とした実践的・体験的な活動や学校給食での栄養のバランスや食べる楽しさ等を児童に伝える取組が、より児童の興味・関心・意欲を高めている。

「生活リズムカレンダー」の取組により、毎日朝食を食べる児童は多いが、献立は菓子パンと牛乳等手作りではないことが明らかになっている。また、生活が便利になり、衣類は手作りが減り、買い物はインターネットを活用する等、生活の中で縫い物をしている姿を見たり一緒に買い物に行ったりする等児童の生活体験が乏しい。保護者もこうした姿を「見せる」という意識が低い。生活環境が変化し多様な家庭生活が営まれている中で、児童自身が発信者となり生活をよりよく工夫しようとする実践意欲が乏しい。

開隆堂出版の教科書は、活動内容の見通しをもたせるため、実習の計画や手順を見開きで写真とともに一列に示したり、実践的・体験的な事例や作品事例を多く示したりするなどの工夫を施している。また、学習内容を生活に生かすための「チャレンジコーナー」が充実している。さらに、家庭科の基礎・基本として、家庭科で使う用語を「ひとロメモ」で解説し、巻末に一覧を設けている。こうした特徴は、縫い物や買い物等の生活体験が乏しく、児童自身が発信者となり生活をよりよく工夫しようとする実践意欲が乏しい本市児童の状況に対応するものである。

教科【体育】 種目【保健】 発行者【大日本図書株式会社】

本市では、全小学校において、早寝早起きや朝食の摂取などを促すため、「全校一斉生活リズムカレンダー実施週間」を設定し、児童の基本的な生活習慣の定着を図る取組を推進している。また、「食育推進担当者研修」の中で、平均残食率の低い学校やバランスのよい食事に向けた取組を進んで行っている学校の実践を発表する機会を設定し、取組を全市に広めている。

平成29年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」によると、本市の児童の生活習慣の実態として、運動の実施頻度や、朝食の摂取状況は全国を上回っているが、睡眠時間に課題がみられる。

大日本図書の教科書は、健康に過ごすための食事や運動、休養・睡眠のとり方についての記述が充実している。また、シールを使用する学習活動を設定しており、児童が自分の生活習慣について興味・関心をもつとともに、自分の生活を振り返り、これからどのようなことに気を付けて生活していけばよいかを考えることができるよう工夫している。こうした特徴は、生活習慣の中で、睡眠時間に課題がある本市児童の状況に対応することができるものである。

平成31年度から使用する広島市立中学校用教科用図書
〔特別の教科 道徳〕の採択理由

(広島市)

教科〔特別の教科 道徳〕 種目〔道 徳〕 発行者〔日本文教出版株式会社〕

本市は、「国際平和文化都市」を都市像とし、被爆者の願いや世界恒久平和を願う市民の心を基底として、人間の尊厳や生命の尊さを自覚し、自他共に大切にし、正義感や公正さを重んじ、人と自然の共生する平和な社会を築いていく心を育て、自立して行動する力を養うことを教育の原点とし、広島の子どもたちが、「心身ともにたくましく思いやりのある人」として、その可能性を最大限に発揮する教育を推進している。道徳教育においては、平成22年度に策定した「規範性をはぐくむための教材・活動プログラム」を活用して、指導方法を工夫し、学校教育全体を通じた道徳教育の充実を図るとともに、平成27年度には「広島市道徳教育プログラム」として改訂し、より一層の充実を図る取組を進めてきた。

本市の生徒は、全国学力・学習状況調査や「基礎・基本」定着状況調査の質問紙から、自尊意識・規範意識等が全国平均よりも高く、自分を大切にす
る気持ちや、規則を守ろうとする態度が身に付いていることがうかがえるが、集団の中で人を思いやって動くなど、コミュニケーション能力の定着に課題が見られる。また、いじめの認知件数は、学年を追うごとに増加しており、いじめの問題に対応するためのより実効性のある力を身に付けさせる必要がある。

道徳の時間の指導については、教育委員会が指定校において実施する「道徳の授業力パワーアップ研修」等を通して、道徳科がめざす「考え、議論する」道徳の指導方法について周知するよう取組を進めているが、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる「考える道徳」「議論する道徳」の実現は十分ではない。

日本文教出版の教科書の特徴である、各学年2～7つのいじめ問題を扱った教材とコラムを掲載していることや、目次に「いじめと向き合う」と示していることは、いじめの問題などに、主体的に対処することができるより実効性のある力を育成するという、本市の生徒の課題に対応することができるものである。また、巻頭に、教材と関連する現代的・社会的課題を11のテーマで示していることや、各教材の終わりに問題解決的な学習を促す発問を示していることは、教材を様々な切り口から捉えるとともに、答えが定まっていない問題を、多面的・多角的な視点から考え、他者と協働して問題を解決しようとする実践意欲・態度を育てる手がかりとなる。さらに、別冊「道徳ノート」に、話し合いの内容を整理する特設の欄を設けていること、「自分への振り返り」について4項目5段階で記入する欄を設けていることは、「考える道徳」「議論する道徳」の実現をめざす本市の課題に対応したものであり、道徳科の目標である、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深めることにつながるものである。